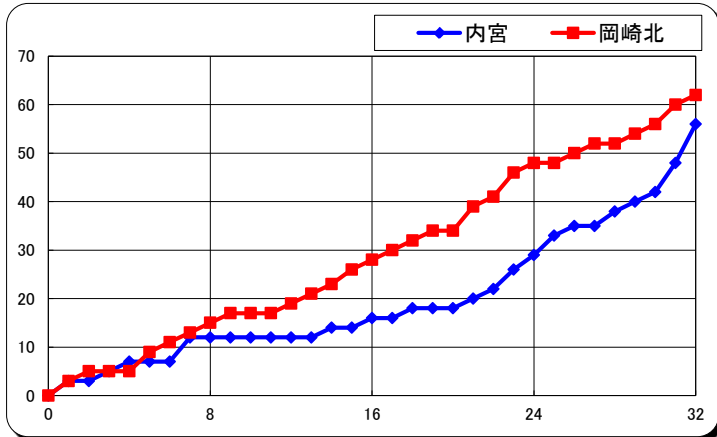




THE 44th ALL ALL JAPAN
Jr HIGH SCHOOL

大会名	平成26年度全国中学校体育大会 第44回 全国中学校バスケットボール大会																
会場	高松市総合体育館																
日時	平成26年8月24日(日) 9:00																
コート	TBコート 第1試合																
カテゴリ	男 男子決勝トーナメント1回戦																
主審	杉浦 元一 (東京)																
副審	森田 将史 (長崎)																
Team A	Team B																
内宮	56	62 岡崎北															
愛媛 ●	<table border="1"> <tr><td>12</td><td>1st</td><td>15</td></tr> <tr><td>4</td><td>2nd</td><td>13</td></tr> <tr><td>13</td><td>3rd</td><td>20</td></tr> <tr><td>27</td><td>4th</td><td>14</td></tr> <tr><td colspan="3">OT</td></tr> </table>	12	1st	15	4	2nd	13	13	3rd	20	27	4th	14	OT			愛知 ○
12	1st	15															
4	2nd	13															
13	3rd	20															
27	4th	14															
OT																	

【得点経過】



【BOXスコア】

Team A		内宮						
番号	選手名前	出場	得点	3P	2P	FT	反則	
4	石丸聡一郎	DNP	0	0	0	0	0	
5	大城 啓輔	DNP	0	0	0	0	0	
6	忽那 納言	DNP	0	0	0	0	0	
7	石丸晋太郎	DNP	0	0	0	0	0	
8	大西 泰輝	DNP	0	0	0	0	0	
9	滝野 誠人	×	7	1	2	0	1	
10	猪田 海大	DNP	0	0	0	0	0	
11	佐々木優也	×	7	1	2	0	0	
12	原 幸伸	×	2	0	1	0	3	
13	渡部 蒼	×	26	6	3	2	2	
14	光宗 宏記	×	14	0	6	2	2	
15	永井 将太	DNP	0	0	0	0	0	
16	鴨頭 光	DNP	0	0	0	0	0	
17	首藤 駿介	DNP	0	0	0	0	0	
18	矢野 翔輝	DNP	0	0	0	0	0	
監督	篠崎 真宏						0	
コーチ	荒井 慎也						0	
合計			56	8	14	4	8	

Team B		岡崎北						
番号	選手名前	出場	得点	3P	2P	FT	反則	
4	市川 星太	×	2	0	1	0	1	
5	深澤 香貴	／	0	0	0	0	1	
6	中崎 圭斗	×	27	0	12	3	1	
7	蘆塚 心	／	0	0	0	0	0	
8	稲葉 良汰	×	6	0	3	0	0	
9	山田 弘幸	DNP	0	0	0	0	0	
10	上田 竜征	×	11	1	4	0	3	
11	唐木 龍	／	0	0	0	0	0	
12	宮脇イゴル	×	16	0	8	0	2	
13	岡崎 圭泰	DNP	0	0	0	0	0	
14	中村 龍彦	DNP	0	0	0	0	0	
15	山田 翼	DNP	0	0	0	0	0	
16	難波 流輝	DNP	0	0	0	0	0	
17	神宮寺 蓮	DNP	0	0	0	0	0	
18								
監督	波江野寛之						0	
コーチ	岡崎 秀昭						0	
合計			62	1	28	3	8	

【戦評】

決勝トーナメント1回戦、四国ブロック代表内宮と東海ブロック代表岡崎北の一戦。1Q立ち上がり、両チームマンツーマンDefでスタート。岡崎北は#6のポストプレーでバスケットカウントを奪い先制。対する内宮は#9の3P、#13の1対1で得点を重ねる。岡崎北は#12の攻守にわたる高いリバウンドでチャンスを広げる。対する内宮は#13の3Pや粘り強いDefからチャージングを奪う。一進一退の攻防が続き1Q内宮22-15岡崎北で終了。2Q岡崎北は、#6の高さを生かした1対1やブロックショット、#12の速攻でリズムをつかむ。対する内宮は、高さに勝る岡崎北のDefを攻めあぐね、9点ビハインドでタイムアウトを取る。しかし、リズムをつかみきれず前半、岡崎北28-16内宮で終了。

3Q立ち上がり内宮はDefを3-2のゾーンに変え反撃を試みる。一方、岡崎北はDefから速い展開でOffを組み立てる。内宮は#9の1対1、#13の3Pで追撃するが、岡崎北も#8の1対1や#10の3Pで応戦し、岡崎北48-29内宮で岡崎北が19点リードし、3Q終了。4Qに入り、内宮は#14の連続得点や#13の3Pでじわじわと点差を縮める。対する岡崎北は内宮のゾーンDefを攻めあぐねるが、リバウンドをしっかりと取り、耐えしのぐ。残り2分7秒、14点ビハインドで内宮がタイムアウトを取る。その後、内宮は、#13の1対1や3Pで得点を重ね追撃するが、およばず岡崎北62-56内宮で、岡崎北が決勝トーナメント2回戦へと駒を進めた。

【戦評記入者】

谷口 真由